

若浜の子ども



令和6年12月17日 第6号

ひたむきさや努力は 大きな感動と幸せをつくる

～学習発表会でも たくさんの全力を見つけたよ～

全校生が体育館に一同に集い、いっしょに感動を味わうことができるようになって2年目を迎えました。寒い季節になってきましたが、若浜小学校の体育館には温かな思いがみなぎっていました。

若浜小の子ども達の演技や発表は、見ているみなさんを幸せにする力を持っています。

自分たちが学習したことがより伝わりやすいような形式にアイデアを出し合うこと、心を合わせてい
いものを創ろうとひたむきに練習し、努力することこそが大きな感動をつくり上げていました。大きな拍手が自分に向けられていることを実感し、がんばってきてよかったという達成感を味わえたことでしょう。数十人もの子どもたち一人一人が輝けるような発表形態や演出を、構想してくださった各担任の先生方の温かさや励ましがあったことも大きな支えでした。



【学習発表会活動（準備期間中と当日本番）で見た「全力（本気）」と「温かさ」】

- ◇セリフや脚本や表現方法を、自分たちでつくり上げる姿
- ◇自分の役割に責任感とやりがいをもって毎日のように練習したこと
- ◇休み時間も、打ち合わせや声をかけ合って練習する姿
- ◇あちらこちらの教室から聞こえてくる精一杯の練習の声
- ◇上級生の演技から学ぼう、真似しようとする下級生
- ◇あいさつ、返事、廊下歩行、素早い整列など、日常生活のマナーや秩序正しさにつなげる姿



<6年>酒田や山形の伝統芸能を工夫満載で表現しました。



<1年>「サラダで元気」やさしい気持ちになれる上手な音読でした。

いつも見守ってくださり ありがとうございます

～交通指導員さん・安全サポーターさん感謝の会～

1年を通して子どもたちの登下校を見守ってくださっている皆さんにお礼の気持ちを表す“感謝の会”を行いました。感謝の気持ちを伝えたいと子どもたちが準備や運営に取り組みました。

交通指導員さん・安全サポーターさんが立ち、声をかけてくれることで、自動車や自転車ドライバーの気持ちを引き締めていただき、子どもたちも安全に気を付けようという気持ちにさせられます。おかげで、今年度も登下校中の交通事故はゼロ、地区内の不審者事案もゼロになり、子どもたちは毎日安全に生活できました。将来は見守りがなくても、自分自身で安全判断して家族にも教えていける人になってもらいたいと思っています。



「ルールの無いゲーム・スマホ使用」は、

「荒波の海に放り出される」のと同じことです

「メディアリテラシー学習（デジタル情報機器安全学習）」で市青少年指導センターの先生方より3年生以上の各教室で講話をしていただきました。近い将来、自分に起こるかもしれない具体的なお話に、危機感を持ち、真剣な表情でスライドを見つめていました。

<①通信先の見えない相手は、悪いことを考えている人かもしれない>

- ・個人情報盗み出そうとする
- ・悪い行動に誘い出そうとする
- ・恥ずかしい写真を送らせようとする

◇一度出された写真や情報は消すことができません



<②メールや文字だけのやりとりは、たくさんの誤解や間違った判断を生みます>

- ・名前を書かないために、気持ちが大きくなり、平気で悪い書き込みをしてしまう（覆面性）
- ・文字だけでは伝えきれない心の内があります

◇顔を見て会話することで、気持ちをくわしく伝えられるものです

<③ゲーム脳、受け身脳は、頭脳のはたらきや心のコントロール力を大きく破壊します>

- ・ゲームの世界でのヒーローは本物ではありません。実際の生活の中で本当の正義を発揮しましょう。
- ・ゲームのし過ぎで「がまん強さ」がなくなります（依存症・心の病）
- ・動画などの見過ぎで受け身脳になり、考える力がなくなります

◇「自分で考える」「人と力を合わせて解決する」ことが人間の幸せに一番大切なことです

<④ルールを決めて、親子でいっしょに努力しよう>

- ・親子でいっしょにルールを決め、親が時々介入しましょう

（守れなかったら「一時使用禁止」とするのも、親としての子どもを守る覚悟を表す方法の一つです）